

令和6年度第1回元気な未来創造戦略推進委員会(R6.5.10)における意見について

資料6 令和6年5月17日
第1回若年人口増加検討会

番号	項目	意見概要
1	若者の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・県外から来ている大学生が高知に魅力を感じて定着してもらうことが必要であり、そのためには、学生の地域活動を支援し、活発にしていくことが効果的 ・教育の質を徹底的に充実させることは高知県で安心して住み続けるために必要 ・若い女性は大学進学での移動ではなく、やりがいのある仕事を求めて東京で出ていく
2	女性の活躍 性別役割分担意識の解消	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の育児休業の取得率を上げていくことは大事だが、まずは、「家のことは女性がやるもの」という意識をあらゆる組織のトップから変えていくことが必要 ・女性がやりたいことを実現できる、活躍できる仕組みづくりが必要。企業としても、女性に向けたPR(活躍できる、私生活と仕事の両立ができる等)に力を入れることが必要 ・若年人口を増やしていくためには、出生率を上げる施策よりも男女平等を追求する施策の方が効果的。育児休暇取得後も仕事と育児を両立して、かつ活躍できる条件整備を高知県で整えることが必要 ・高知県は男性の育児休暇取得率は高く、育児時間も長い傾向にあり、高知県の強みになり得るのでそれを生かすことが大切。一方で、データで見ると、男性が優遇されていると感じる割合も一定高く、そのような意識が強く残っているのではないかと ・女性の活躍と男性の活躍は表裏一体で、誰もが活躍できる社会づくりに向けて男性の意識改革が重要
3	婚姻数増加	<ul style="list-style-type: none"> ・高知の若者は結婚したいという意向はあるが、出会いの場がない。婚活イベントのような1回だけの出会いではなく、継続して交流できる場所が必要
4	出生数の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・出生数減少の原因は、婚姻数の減少で高知県では半世紀で33%減少、婚姻数減少の原因は、若い女性が県外に出ていること ・都道府県の合計特殊出生率と出生数は相関していないので、出生率ではなく出生数を見ていくことが重要 ・出生率が回復している国は、多様なライフスタイルを認めている国であり、そのような環境が高知県で整うことが大切 ・昨今の研究では、子育て支援策の充実が出生数の増加につながっていないという結果も出ている
5	中山間振興	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域で特に重要な産業となる、農業や福祉関係の仕事について、産業効率を良くし、魅力的な仕事にしていくことが必要